

平成18年度 島根大学教育学部附属学校園

幼小中一貫教育を語る会

報 告 集

島根大学教育学部附属学校園

本格始動する附属学校・園改革

—「一貫教育学校」創設に向けた組織的取組みへの期待—

教育学部学部長

高岡 信也

平成十六年四月、国立大学法人化がいよいよ開始され、島根大学教育学部もまたその大波を避けて通れない状況に置かれた。さらにまったく時を同じくして、本学部は、義務教育教員の養成に特化する「新生教育学部」として新たな歩みを始めた。爾来三年、附属学校・園の改革構想がその具体的な姿を現した。

法人化が求めた「中期目標・計画」の策定と「年度計画」の設定という初めての経験の中で、私たちは、大学・学部の運営に、計画性と組織性、将来展望を踏まえた改革への意欲、さらにはコスト意識といった、一言で言えば、経営的視点の重要性に気づかされた。まさにそれは、気づかされたというにふさわしいある種のカルチャー・ショックであった。

しかし、翻って、こと附属学校・園の改革という点に限れば、そうでもない。わが学部では、すでに法人化準備期間（平成十五年度）のうちに附属学校改革に関する検討組織を立ち上げ、二ヶ月間ほどの集中審議を行っていた。

だからこそ、平成十六年度当初から「附属学校部」が立ち上がったし、校・園長の選出方法も改善できた。改めて過去の資料を整理してみると、若干「なかだるみ」の時期もないではないが、この三年間、概ね堅実に、附属学校・園改革に関する検討課題の整理と将来構想が積み上げられてきた。

私自身は、この間、学部の立場からの直接の担当者として、一貫して附属改組の必要性と必然性について意見を述べ続けてきた。時として附属や学部の先生方から「独走」を懸念する批判やご意見もいただいた。しかし、そのこともまた今となつては、私自身と構成員全体の両方にとって、良い経験であったと思う。

私は、学部と附属の構成員のだれもが、「附属を、今よりもさらに良い学校にすること」、「学部と附属が、今よりもっと連携できる組織になること」、「学部学生が、今よりもっと優れた教師としての資質を得て卒業すること」について、同じ志向を持っていることを信じて疑わない。逆に言えば、噴出する（学校）教育問題を眼前にして「だれも今のままで良いとは思っていない」という確信である。

私たちの前にある構想は、戦後六十年にわたって続いた「六・三制」という学校制度への挑戦という意味を含んでいる。大輪地区に互いに隣接する教育・施設環境を生かして、「四・三・四制」という一貫教育システムを構築するこの構想は「学校の制度疲労を何とかしたい」という、専門職集団の知恵の結晶である。さらに敢えて言えば、地元島根県の教育界に対して、教育イノベーションの必要性を具体的な形で提起する意義を有する。

構想の輪郭は見えた。あとは肉付けである。仕事は始まったばかりとも言えるし、山は越したと考えることもできる。少なくとも、この報告書自体が体現するように、附属学校・園の構成員が共通の改革理念を創り上げること、かつその理念の構築をめざして活発に議論することの意義を、「常識」と考えるようになったという事実は重要である。

私自身の仕事は、とりもなおさず、この構想を平成二十年度から実施できる環境を創ることである。今後予想される文部科学省との協議をうまくとりまとめることである。昨年の轍を踏まぬよう、肝に銘じたい。

目 次

巻頭言 本格始動する附属学校・園改革
—「一貫教育学校」創設に向けた組織的取組みへの期待

第一部 語る会報告

全体会オリエンテーション

島根大学教育学部附属学校園における幼小中一貫教育実現への取り組みについて

添付資料：島根大学教育学部附属学校園における幼小中一貫教育推進計画<概要>

○一貫教育で育てたい子どもの姿 ○基本理念・基本目標

語る会プログラム

○日程 ○公開授業 ○テーマ別分科会 ○シンポジウム

分科会およびシンポジウム報告

- 幼稚園・低学年：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 国語・ことば：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 社会・環境：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 算数・数学・かず：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 理科・環境：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 音楽・表現：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 体育・健康：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 技術・家庭：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 英語：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 図工・美術・表現：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 総合的な学習：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括
- 生徒支援：検討の経緯／幼小中一貫に向けて／指導案／分科会の整理と総括

■シンポジウム「幼小中一貫教育の実現に向けて」の整理と要約
添付資料

参会者の声・・・参会者からのアンケートより

第二部 単元・題材配列表<試案>

一貫教育の観点による各教科・領域等の単元・題材配列表<試案>

- 国語・ことば
- 社会・環境
- 算数・数学・かず
- 理科・環境
- 音楽・表現
- 体育・健康
- 技術・家庭
- 英語
- 図工・美術・表現
- 総合的な学習

共同研究同人一覧（附属学校園教職員並びに教育学部教員）

第一部

語る会報告

◆ 共同研究同人一覧（附属学校園教職員並びに教育学部教員） ◆

附属学校部長 森本直人（附属園長兼任）

同中学校長 中山正吉

同小学校長 多々納道子

同中学校副校長 宮本弘和

同小学校副校長 瀧野一夫

同幼稚園副園長 野津道代

▼語る会運営部・研究部▼

[幼稚園] 星野和美 梶原 泉

[小学校] 陶山昇 金山剛志

[中学校] 神田裕之 井上富美子

【幼稚園・低学年】

[幼稚園] 星野和美

[小学校] 赤木寛子 松本真理 仙田淳一

荻田幸浩 喜多川昭博 森脇千恵子

[学 部] 山下政俊、田中昭夫

【国語・ことば】

[幼稚園] 藤田ひとみ

[小学校] 金山剛志 藤原さり 喜多川昭博

[中学校] 湯浅哲司 川井史生 林原公子

[学 部] 足立悦男 間瀬茂夫 権藤誠剛

【社会・環境】

[小学校] 吉崎 朗 福間敏之 陶山 昇

[中学校] 大島 悟 竹崎葉子 高木敏光

[学 部] 加藤寿朗 尾原康光

【算数・数学・かず】

[幼稚園] 星野和美

[小学校] 仙田淳一 村上幸人 光森千修

[中学校] 宮本弘和 神田裕之 西田 修 原 浩

[学 部] 富竹 徹 岩田直樹

【理科・環境】

[幼稚園] 梶原 泉

[小学校] 高橋泰道 齋藤由美子 佐貫牧子

[中学校] 山根齐浩 鎌田祥史 福島章洋

[学 部] 大谷修司 平野俊英

【音楽・表現】

[幼稚園] 安部 彩

[小学校] 赤木寛子 小林佳子

[中学校] 今岡正治 小村 聡

[学 部] 藤井浩基 佐々木耕司 秦 光司

【保健体育・健康】

[小学校] 梶谷朱美 荻田幸浩

[中学校] 安達正治 上田亜由美 柏木裕至

[学 部] 中山正吉 広兼志保

【技術・家庭】

[小学校] 吾郷綾子

[中学校] 井上富美子 長澤郁夫

[学 部] 山下晃功 多々納道子 丸橋静香

【英語・英語活動】

[小学校] 陶山 昇 村上幸人

[中学校] 中釜智子 渡部睦浩 小澤正則

[学 部] 縄田裕幸

【図工・美術・表現】

[幼稚園] 井上里恵

[小学校] 瀧野一夫 松本真理

[中学校] 錦織秀行

[学 部] 佐々有生 石上城行

【総合的な学習の時間】

[小学校] 金山剛志

[中学校] 中釜智子 高木敏光

[学 部] 森本直人 川路澄人

【生徒支援（特別支援教育・養護教諭）】

[幼稚園] 野津道代 金岡真貴子

[小学校] 山本 勉 道前 正 森脇千恵子

杵村明子 小川真由子

[中学校] 奈良井 正 宮崎紀雅 江角聡子

古瀬知美

[学 部] 齋藤英明 三宅理子 平野俊英

平成19年3月 印刷
平成19年3月 発行

発行所 島根大学教育学部附属学校部
〒690-0824 松江市菅田町167-1
TEL 0852-29-1300
FAX 0852-29-1317

印刷所 筒木次印刷
雲南市三刀屋町下熊谷1635
TEL 0854-45-2515
